

## 世界科学データシステム(WDS) 国際プログラムオフィス(IPO)について

### 経緯

年	月日	事項
2008年	10月21日～24日	第29回国際科学会議(ICSU)総会にてWDS事業が発足
2009年	4月27日	WDS科学委員会(WDS-SC)設立
2010年	8月10日～ 9月30日	WDS国際プログラムオフィス(WDS-IPO) <u>主宰機関公募</u> (NICTが応募)
	11月3日	NICTの申し出を国際科学会議が <u>正式に承諾</u>
	12月8日～9日	国際科学会議公式視察団がNICTに来訪
2011年	7月15日	NICT-国際科学会議間で <u>覚書調印</u>
	9月3日～8日	WDS国際会議、科学委員会会合開催(於 京都)
	9月15日～ 10月15日	<u>ED</u> (Executive Director) <u>公募</u>
	12月	ED候補者面接、最終候補者内定(予定)
2012年	2月～3月	<u>ED着任(予定)</u>

# 国際プログラムオフィス (IPO) 及びEDの役割

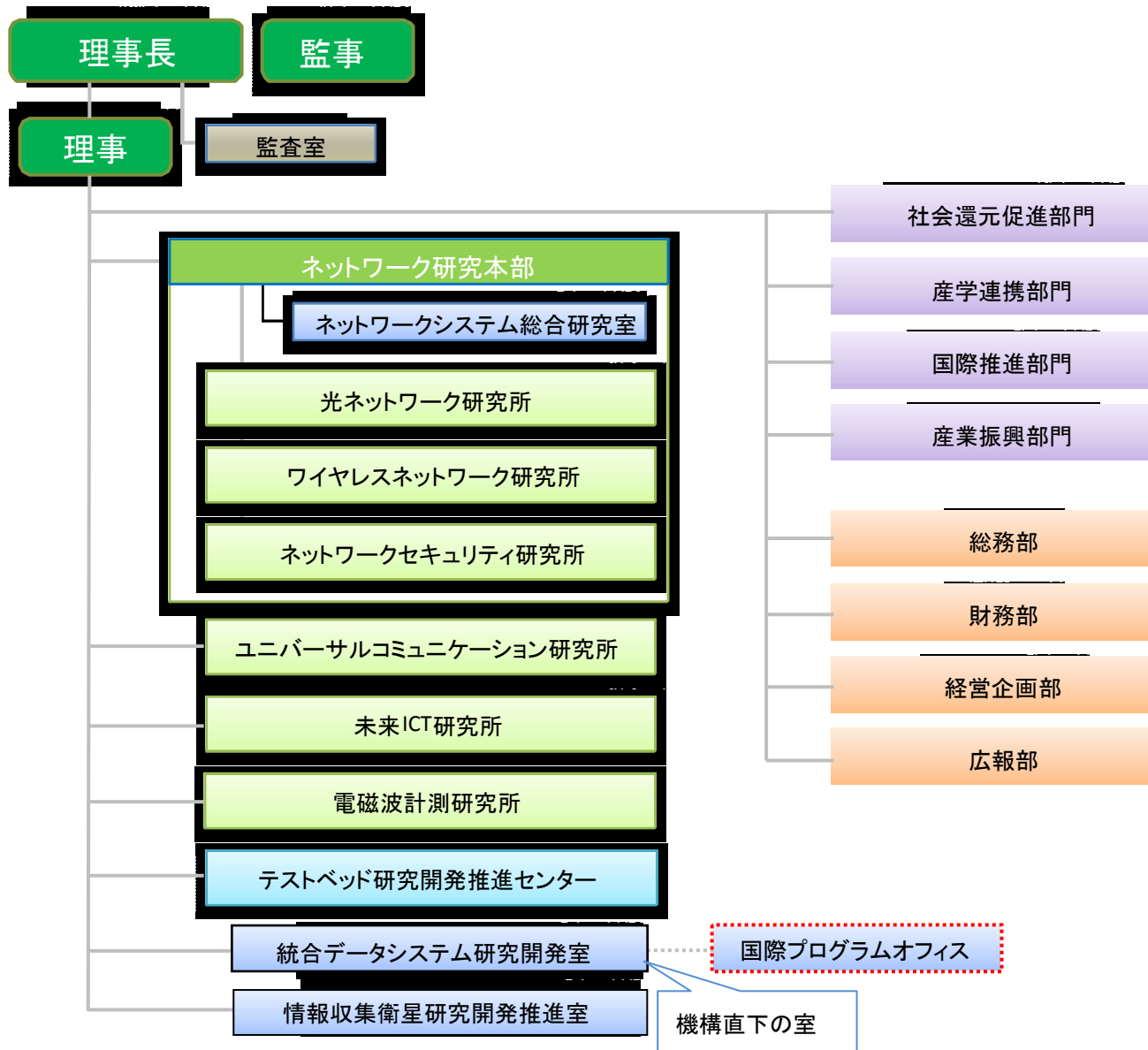
- ・WDS科学委員会 (WDS-SC) の事務局として活動
- ・EDは科学委員会及びExecutive Committeeに参加
- ・EDは科学委員会の監督の下、WDSの迅速 (expeditious) かつ秩序立った発展及び実現を促進
  - － WDS規約 (Constitution) より
- ・EDはWDSの普及広報を実施
  - － ICSU-NICT間の協力文書 (LoC: Letter of Cooperation) より

(参考) ICSU-NICT間の協力文書の概要

NICTは国際プログラムオフィスの活動のため、以下を実施

- 資金の確保
  - － NICTの予算内で一定額を確保
- ED
  - － NICTのフルタイム職員
  - － 国際科学会議が国際公募し、選考委員会が最終候補者を選出
- 場所
  - － NICT本部(東京)にED、スタッフの部屋の確保
- 会議開催
  - － 科学委員会会合開催及び2年に1度のWDS 会議開催の関連作業

# 国際プログラムオフィスの位置づけ



# 国際プログラムオフィス内外の体制

## 世界科学データシステム科学委員会 WDS-Scientific Committee (SC)

NICT

統合データシステム研究開発室

国際プログラムオフィス

ED  
(Executive Director)



Program (Science)  
Officer



Administrative  
Officer



室長(兼 特別委員  
Ex-officio)



NICT研究者

WDS国内推進会議

日本学術会議  
総務省  
文部科学省  
国内WDC機関  
(研究機関)  
NICT

